

マテリアリティの進捗状況 (2025年3月31日現在)

UNGC分野	当社グループが取り組む意義	マテリアリティ	主なKPI	ターゲット		2024年度実績
				目標値	目標達成年度	
人権・労働	「浜から食卓までを網羅し、挑戦の歩みを未来へ」を実現し 社会課題に取り組む多様な人材育成と、安心して活躍できる労働環境の整備 P.35~40参照	人権の尊重	人権教育:人権意識醸成	1回/年以上	2024	研修・e-ラーニングを年3回実施
		ダイバーシティ	女性採用比率	50%	2030	女性採用比率 22% 女性管理職比率 0% 男性育児取得率 100% ※単体実績
			女性管理職比率	10%以上		
			男性育児休暇取得率	100%		
		人材育成	グループ全体としてのビジョン共有	理解度100%	2030	理解度39%
			人材定着、育成プランの作成	離職率5%以下		離職率4%
社内環境整備	人事上の情報、施策の可視化	ISO30414の認証取得	2030	—		
労働安全衛生	安全衛生管理への意識醸成	1回/年以上	2024	研修・e-ラーニングを年3回実施		
環境	海洋環境の保全と持続可能な水産物の生産・供給に貢献する P.27~34、41・42参照	気候変動への対応	GHG排出量削減目標・削減ロードマップ策定	—	2025	達成年度見直し 削減目標・ロードマップ作成中
			GHG排出量削減率	46%以上	2030	バウンダリ内の算定精度向上
			カーボンニュートラルの達成	—	2050	
		水の使用量削減	使用量の計測開始・体制構築	—	2025	2023年度から取水量・排水量・水消費量を計測中
			削減目標・削減ロードマップ策定	—		
			取水量削減率	10%以上	2030	
		資源循環推進の事業別取り組み	食品事業における環境配慮商材の売上高 ※MELなどの認証商材の普及による資源循環推進	30%以上	2030	・食 品：462百万円 (0.6%) ・海 洋：16百万円 (0.1%) ・機 械：947百万円 (6.1%) ・化成品：46百万円 (0.5%) ※(〇%)はセグメント売上に対する割合
			海洋、機械・資材の各事業における環境配慮商材の売上高 ※バイオ・生分解性および廃棄物リサイクル資材、省エネ設備などの提供による陸海の資源循環・環境保全の促進 ※LCにおけるGHG排出削減			
		生物多様性の保全 資源状態の確認	資源状態の確認開始・体制構築	—	2025	—
			リスク評価・抽出した課題への対応開始	—	2027	—
資源状態確認率	100%		2030	—		
腐敗防止	多様化するリスクへのマネジメントと企業規範遵守を意識したガバナンスとコンプライアンスの徹底 P.43~54参照	腐敗防止体制	腐敗防止体制の中長期的な改善実施	—	2024	外部通報窓口の設置と浸透策実施
		内部統制・遵法状況点検	重大な不正・不祥事の発生件数	0件	2024	重大な不正・不祥事の発生件数0件
		重要法令(下請法等)の遵守	重要法令研修の実施	1回/年以上	2024	年1回の関係法令遵守の研修を実施
		内部通報制度の運用	内部通報制度の適切な運用	—	2024	通報件数0件 (関連する規程類に違反する事例の発生なし)